

【出席者】協議会委員 15 名 / 事務局 6 名

【報告事項】

- ・第1回協議会の振り返り
- ・あやめ祭り、せと市アンケート結果報告

【協議内容】

- ・本郷地域まちなか賑わい創出基本計画について
- ・複合社会実験（ワークショップ）の内容について



「II-2 まちなか周遊 憩いの場づくりプロジェクト」について

- ・本郷一小跡地の活用についての要望
- ・現在の計画案は現実的ではないので、住民のニーズを反映した内容で改変をしてほしい。
- ・本郷のまちなかには駐車場が少ないように思うので、駐車場を整備してほしい
- ・屋内および屋外遊び場が必要
- ・屋外広場はイベント実施などができる仕様としてほしい
- ・幅広い年代の子ども、子育て中の親が集える施設が必要
- ・こども園を整備するのはどうか
- ・お年寄りも散歩できる公園になるとよい。



本郷パーク 完成イメージ図

本郷まちなか未来ビジョン（たたき案）

■基本方針

I 「東北最古の焼き物の町」にむけたまちづくり
本郷焼を誇り入れた景観の形成や、本郷焼に関するイベントや祭りをより盛り上げることで、本郷に誇れる人（東北最古の焼き物の町）だと感じることができ、景観の形成をまちなかづくりで目指します。

II 暮らしを楽しくするまちづくり
飲食店の外側にむけた緑地や、休憩・集う空間の形成などを進めることで、本郷に誇れる人（本郷焼を誇れる町）だと感じることができ、景観の形成をまちなかづくりで目指します。

III 広くつながっていくまちづくり
情報発信の強化や、只見線や周辺地域と連携した観光ルート（観光モデルコース）の形成により、より広くつながっていくことで、地域や観光客の来訪を促すとともに、まちなかの賑わいづくりを目指します。

■基本的戦略と重点事業

●「東北最古の焼き物の町」を伝える修景・まちなみづくり
I-1 本郷焼でつなぐ、灯りとサインのまちづくりプロジェクト
I-2 町中に本郷焼いっぱいプロジェクト
I-3 せと市プロジェクト
I-4 本郷まちなか景観づくり（まちなみ景観補助事業の再活用）

●まちなかの魅力向上にむけたコンテンツづくり
II-1 本郷の「食」発掘プロジェクト
II-2 まちなか周遊 憩いの場づくりプロジェクト
II-3 本郷に泊まろうプロジェクト
II-4 文化施設の改変事業との連携

●情報発信のしくみづくり
III-1 本郷の魅力を伝えるプロジェクト
●他地区・周辺地域と連携したにぎわいづくり
III-2 只見線や周辺観光と連携した、まちなか観光プロジェクト

■今年度の社会実験（案）

- ・陶板サイン行灯の試作
- ・中学生の陶芸作品による修景

【複合社会実験】

（夕涼み会）10月10日頃予定

- ・まちなみづくり・まちなか周遊
- ・本郷焼行灯の設置
- ・陶板サイン行灯の試作実験

本郷のまちなかの魅力再確認・PR実験
・憩いの場の活用（野月菜スポット）
・地元の野菜と本郷焼のコラボ試食会
・只見線活用モニターツアー
（本郷駅からトクトックでまちなかへ）
+ 住民アンケート
・各プロジェクトについて
・各文化施設の改変事業案について

【アンケート調査】

キーワード（魅力・資源・課題）抽出

- ① あやめ祭りアンケート（済）
- ② せと市アンケート（済）
- ③ 住民アンケート（複合社会実験時）

「本郷まちなか未来ビジョン案 全体」について

- ・訪れた人に対するビジョンが多いように感じるので、全体的に住民へのアプローチも含めた方がよい
- ・住んでいる人がにぎわうことで、まちなかがにぎわうことを意識する。
- ・「日常的に本郷焼が使われている」ような、本郷に根付くアイデンティティや誇りを大切にしたビジョンをしたい。

「II-4 文化観光施設の改変事業との連携」について

- ・山城の観光客がここ数年で増加していることから、ガイドランス機能の設置は重要だと考える
- ・インフォメーションセンターやいわては観光の玄関口として、本郷焼だけではなく山城など本郷の様々な情報のガイドランス機能を一括して設けた方がよい
- ・インフォメーションセンターやいわては観光の玄関口のメイン施設としては駐車場が狭いように感じる
- ・山城の登り口にも、簡単なガイドランス機能があると良い

「III-2 他地区・周辺地域と連携したにぎわいづくり」について

- ・本郷の玄関口としての「本郷駅」として駅舎をしつらえることはできないか
- ・駅舎と、駅舎隣の倉庫を一体的に活用してはどうか
- ※JR 東日本スタートアッププログラムを活用するのはどうか
- ・車で訪来者のための観光モデルコースも検討してはどうか（アンケートより、車で訪来者が多いことから）

